

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 情報工学科 (本荘キャンパス)
3. 専門分野 知能情報処理分野、メディア情報処理分野
知能情報処理あるいはメディア情報処理の基礎的分野に精通し、それを活用した応用分野において顕著な実績を有し、学科の研究・教育・地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 線形代数、数値解析、シミュレーション工学、プログラミング、システム創成プロジェクト実習、
キャップストーンプロジェクト(企業課題解決 PBL 演習)、卒業研究指導など
(大学院) 総合システム工学専門セミナー、総合システム工学特別研究(修士論文) など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し、研究上の業績を有すること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2025年10月1日以降、なるべく早い時期
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限なし。勤務成績、業務遂行の目標及び計画等により判断する。)
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書(本学所定の様式2*による。)研究業績は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③登録特許、④その他に分類して記載してください。また、主要なものを5編に○をつけてください。
(3)主要論文5編(コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000字程度)
(5)教育に対する抱負(1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注) *印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025年5月30日(金) 必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)
(2)第二次選考 プレゼンテーション、学長・副学長による面接
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
提出先: 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也
TEL: 0184-27-2000 (本荘キャンパス代表)、E-mail: tetsuya_nishida@akita-pu.ac.jp
※封筒の表に「情報工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
応募書類は返却しません。
問い合わせ先: 秋田県立大学システム科学技術学部 情報工学科長 西口 正之
TEL: 0184-27-2090 (ダイヤルイン)、E-mail: nishiguchi@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

情報工学科では、学科の教育研究方針に基づいて、今後さらに強化すべき情報システム創成学講座あるいは実世界情報学講座の研究・教育分野を踏まえ、情報システムならびに情報処理あるいはメディア処理の基礎的分野に精通し、それを活用した応用分野の開発において顕著な実績を有し、学科の研究・教育・地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は以下のとおりです。

[研究]

情報工学科では、AI、セキュリティ、データサイエンス等の技術を駆使して現実空間の大規模なデータの収集・分析・知識化を行い、社会課題に解決に寄与する情報システムの研究と応用を推進しています。このたびの公募では、この分野の研究と応用をいっそう推進するために、IoT・AI等の情報処理技術とネットワーク技術、メディア処理技術を融合して、現実空間の様々な場所で発生する情報を安全に活用して新たな価値を生み出す情報システムを構想し、その実現に向けて強力に研究を推進できる人材を求めます。さらに、社会や地域の本質的な欲求を見抜いて研究課題を設定する課題発見力および関連する要素技術の開発を推進できる人材を求めます。

[教育]

AI（人工知能）、セキュリティ、データサイエンス等の技術を駆使して、現実空間の大規模なデータの収集・分析・知識化を行うことにより、社会課題の解決に寄与する情報システムを設計・開発できる人材を育成するために、数値解析、AI、機械学習、またはシミュレーションといった基礎科目ならびにセミナー、卒業研究、修士論文指導を担当することができ、課題発見力・プロジェクトマネジメント力・協働力といった実践力を養成するプロジェクト実習等の実習・演習科目や、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」にも積極的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

人口減少・高齢化などの様々な社会課題に対応していくためには、地域の産業・社会・環境に深く関心を寄せ、地域の当事者や業界でも気づいていない本質的な欲求を見抜いて、地域の産業や社会の持続的発展に寄与できる適切な課題を設定でき、さらに秋田での課題解決手法をより一般化し、世界レベルの課題解決に展開して行くことの出来る視点、外部との連携ができる交渉力や柔軟性を備えた人材を求めます。他学部、産学連携センター、アグリイノベーション教育研究センター(AIC)、企業、自治体、あるいは標準化団体など多様な組織と連携できるコミュニケーション力、リーダーシップを備えた人材を重視します。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

令和 7 年度 情報工学科 大講座・グループ構成

2025.4

情報工学科では現実空間とサイバー空間の情報を収集・整理・融合して、新たな価値・ユーザー体験を創造することを目指し、以下の 2 講座体制とする。

1. IoT・AI・機械学習等の技術を駆使して、大規模なデータの収集・分析・整理・知識化を行うことにより、新たな価値を生み出す情報システム創成学講座。
2. 音声・画像情報を中心に、現実空間のヒト・モノ・コトに関する多様な情報をキャプチャー、認識、伝送、生成し、人にとって使いやすい新たなヒューマンインタフェースを提供する実世界情報学講座。

情報システム創成学講座

- 情報システム研究グループ
システムデザイン
幾何情報処理
情報ネットワーク
- 知能システム研究グループ
知能情報処理

実世界情報学講座

- メディア情報処理研究グループ
音情報処理
画像情報処理